

学習日： 年 月 日 氏名：

## ■ 1. 地球上の位置と私たちの生活

【参照ページ】教 p.6~7、W p.8~9、資 p.6~7

### 地球の姿

・地球の表面を眺めたときに、陸地が占める割合が最大となるように地球を二分したものを(① )、海洋が占める割合が最大となるように地球を二分したものを(② )という。

【教 p.6 図1・図2、資 p.17】

※①の中心はフランス付近、②の中心はニュージーランド沖となる。

### (2) 緯度と経度

・地球上の絶対的な位置は、(③ )と(④ )によって表すことができる。  
・③は赤道を0度として、南北をそれぞれ90度に分けたもので、同じ③の地点を結んだ線は(⑤ )とよばれる。  
・同じ④の地点を結んだ線は(⑥ )とよばれる。イギリスの旧グリニッジ天文台を通る④0度の(⑦ ) (南北の線)は(⑧ )とよばれる。

【教 p.6、資 p.6「緯度と経度」】

### (3) 緯度の違いとその影響

・地球の地軸が公転面に対する垂直方向から23.4度傾いていることから、北半球で夏至の正午に太陽の真下になるのが北緯23.4度の(⑨ )である。

【教 p.7 図6】

・両極から地軸の傾き分を引いた、北緯66.6度よりも高緯度の地域を(⑩ )という。⑩や南極圏では、夏には太陽が沈まず、また沈んでも一晩中暗くならない(⑪ )という現象が起こる。一方、冬には正午になっても太陽が昇らない(⑫ )という現象が起こる。

【教 p.7 図7、資 p.6「白夜と極夜」】

### 確認・説明に挑戦！ (W p.8 下部)

**確認：**白夜や極夜がどのような現象か確認しよう。

**説明：**低緯度地域では、なぜ日ざしが強く、暑い地域となるのか説明しよう。

## ■ 2. 地球儀と地図

【参照ページ】教 p.10~11、W p.12~13、資 p.8

### (1) 地球の模型と平面の地図の違い

・地球の模型である地球儀は、距離や面積の比率、角度、方位等が正しく表される。  
・一方、球面である地球表面を平面の地図で表すと、さまざまな(⑬ )が生じる。

【教 p.10、資 p.8「平面図のしくみ」】

### (2) さまざまな図法とその特徴

平面の地図には、角度・距離・方位・面積などの要素のうち、いくつかを正しく表現しようとするさまざまな(⑭ )が用いられる。

#### 【角度を正しく表す図法】

特徴：緯線・経線に対する角度や形の関係が正しい(⑮ )図。地図上の任意の2点を結んだ直線が(⑯ )を示す。

短所：高緯度ほど面積が拡大され、面積が大きく描かれる。

主な図法：(⑰ )図法

【教 p.11 図4、資 p.8】

#### 【距離と方位を正しく表す図法】

特徴：図の中心からの距離と方位が正しい。図の中心からの最短距離である(⑱ )が直線で表される。

短所：周縁部ほど面積が拡大され、面積が大きく描かれる。

主な図法：(⑲ )図法

【教 p.11 図5、資 p.8】

#### 【面積を正しく表す図法】

特徴：面積の関係が正しい(⑳ )図として、さまざまな分布を示す際に利用。

短所：海洋部を断裂させるなど、形がひずむ。

主な図法：(㉑ )図法

【教 p.11 図6、資 p.8】

※その他、サンソン図法やメルワイデ図法などがある。

### 確認・説明に挑戦！ (W p.12 下部)

- ・ **確認：**地球儀と地図の特徴の違いを確認しよう。
- ・ **説明：**身の回りにある地図はどのような図法が用いられ、なぜその図法で描かれているのか説明しよう。